

◇環境保全推進賞

ベーリンガーインゲルハイム製薬株式会社（東根市）

＝ 環境に配慮したエネルギーセンターの操業委託 ＝

ドイツに本社を置く、ベーリンガーインゲルハイムは、グローバルレベルでカーボンフットプリントの削減に取り組んでいます。

2017年より工場で排出されるCO₂の削減とエネルギー戦略のアップグレードを目的に検討を開始し、2021年に石油資源開発株式会社と山形ガス株式会社が出資するキルシュ・エネルギーサービス合同会社（KES）と、エネルギーサービスプロバイダ契約を締結しました。本契約に基づき、KESがエネルギーセンターを建設し、2023年4月よりエネルギーセンターの操業を開始しました。

エネルギーセンターは、天然ガスを燃料とするコージェネレーションシステムや高効率ボイラー設備などから構成されています。本運用および操業委託により、CO₂排出量21%削減、電源冗長化*による災害への備え、本業である医薬品製造への集中などの効果を見込んでおります。

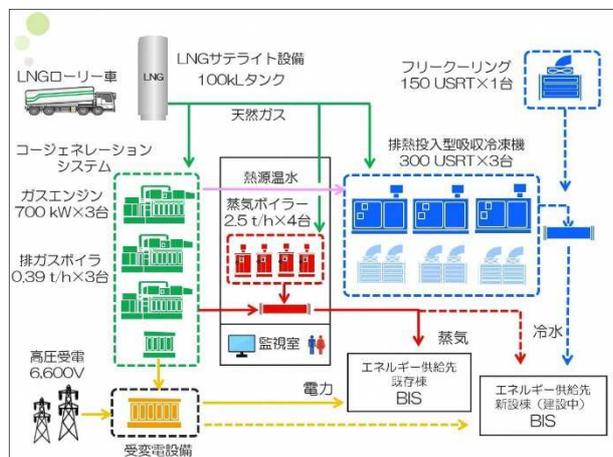
*電源冗長化：平常時から商用電源に加え、コージェネレーションシステムからの発電電力を併用し、停電時にはコージェネレーションシステムからの電力をバックアップとして使用すること



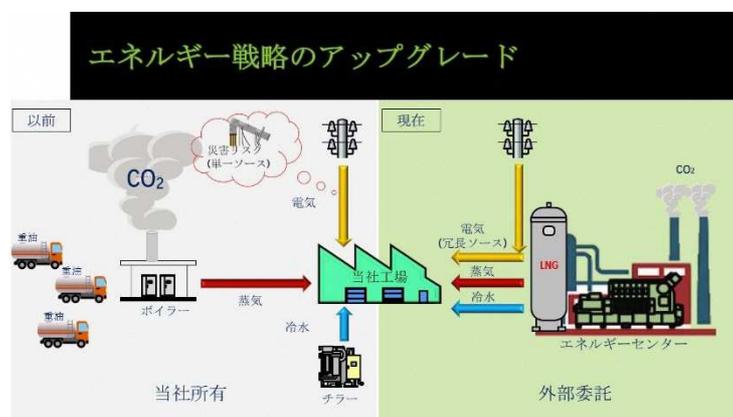
工場全景



エネルギーセンター全景



システム概要



エネルギー戦略のアップグレード